# 平成22年８月期　第１四半期決算短信

平成22年１月14日

上 場 会 社 名　グローウェルホールディングス株式会社　　上場取引所　東証第二部
コ ー ド 番 号　3141　　URL　http://www.growell.jp
代　　表　　者（役職名）代表取締役社長　　（氏名）髙田隆右
問合せ先責任者（役職名）取締役執行役員グループ財務経理本部長　（氏名）佐藤範正　　TEL03(5207)-5878
四半期報告書提出予定日　平成22年1月14日

（百万円未満切捨て）

## 1.　平成22年８月期第１四半期の連結業績（平成21年９月１日～平成21年11月30日）

### (1) 連結経営成績(累計)

（%表示は対前年同四半期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 22年８月期第１四半期 | 54,259 | 42.3 | 1,522 | 27.3 | 1,641 | 26.8 | 777 | 76.8 |
| 21年８月期第１四半期 | 38,141 | — | 1,195 | — | 1,294 | — | 439 | — |

| | １株当たり四半期純利益 | | 潜在株式調整後１株当たり四半期純利益 | |
|---|---|---|---|---|
| | 円 | 銭 | 円 | 銭 |
| 22年８月期第１四半期 | 55 | 32 | | — |
| 21年８月期第１四半期 | 31 | 29 | | — |

### (2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | １株当たり純資産 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 | 銭 |
| 22年８月期第１四半期 | 86,369 | 27,208 | 30.4 | 1,869 | 94 |
| 21年８月期 | 86,867 | 26,912 | 29.9 | 1,850 | 30 |

（参考）　自己資本　22年８月期第１四半期　26,272百万円　21年８月期　25,996百万円

## 2.　配当の状況

| | １株当たり配当金 | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| （基準日） | 第１四半期末 | | 第２四半期末 | | 第３四半期末 | | 期末 | | 年間 | |
| | 円 | 銭 | 円 | 銭 | 円 | 銭 | 円 | 銭 | 円 | 銭 |
| 21年８月期 | | — | | — | | — | 35 | 00 | 35 | 00 |
| 22年８月期 | | — | | | | | | | | |
| 22年８月期(予想) | | | 17 | 50 | | — | 17 | 50 | 35 | 00 |

（注）　配当予想の当四半期における修正の有無　：　無

## 3.　平成22年８月期の連結業績予想（平成21年９月１日～平成22年８月31日）

（%表示は、通期は対前期、第２四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | １株当たり当期純利益 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 | 銭 |
| 第２四半期連結累計期間 | 108,800 | 22.7 | 3,400 | 23.3 | 3,600 | 20.4 | 1,500 | 42.1 | 106 | 76 |
| 通　期 | 238,000 | 19.6 | 7,000 | 27.6 | 7,300 | 23.6 | 3,000 | 39.3 | 194 | 35 |

（注）　連結業績予想数値の当四半期における修正の有無　：　無

4.　その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)　：　無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　：　有

[(注) 詳細は、５ページ【定性的情報・財務諸表等】　4. その他をご覧ください。]

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの）

①　会計基準等の改正に伴う変更　：　無

②　①以外の変更　：　有

[(注) 詳細は、５ページ【定性的情報・財務諸表等】　4. その他をご覧ください。]

(4) 発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 22年８月期第１四半期 | 14,065,198株 | 21年８月期 | 14,065,198株 |

②　期末自己株式数

| | | | |
|---|---|---|---|
| 22年８月期第１四半期 | 15,415株 | 21年８月期 | 15,202株 |

③　期中平均株式数（四半期連結累計期間）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 22年８月期第１四半期 | 14,049,905株 | 21年８月期第１四半期 | 14,050,587株 |

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績等は、今後様々要因によって予想数値と異なる可能性があります。

・定性的情報・財務諸表等

1.　連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結会計期間におけるわが国経済は、一部で回復の兆しが見られるものの、円高の進行や不安定な雇用情勢などの先行きの不透明感から、消費者の生活防衛意識が高く、引き続き節約志向の動きが見られるなど個人消費が低調に推移し、厳しい環境が継続しております。

ドラッグストア業界におきましては、平成21年６月に施行された改正薬事法により、異業種の参入、Ｍ＆Ａや資本・業務提携等の業界再編の動きが加速する中、消費の低迷、出店競争や価格競争の波を受け、業界を取巻く環境は一層厳しい状況となっております。

このような状況下におきまして、当社グループは「ドラッグ＆調剤」を中心としたビジネスモデルの推進に注力するとともに、お客様のニーズに対応する商品戦略の推進や更なるグループ力の向上等に努めてまいりました。

店舗の出店・閉店につきましては、新規８店舗を出店、閉店１店舗となり、当第１四半期連結会計期間末の当社グループの店舗数は、以下のとおり573店舗となりました。

（単位：店）

| | 前期末店舗数<br>（平成21年８月31日） | 出店数 | 閉店数 | 第１四半期末店舗数<br>（平成21年11月30日） |
|---|---|---|---|---|
| ウエルシア関東及び子会社<br>（内、調剤取扱店）<br>（内、深夜営業店） | 350<br>(282)<br>(247) | 5 | － | 355<br>(292)<br>(252) |
| 高田薬局<br>（内、調剤取扱店）<br>（内、深夜営業店） | 104<br>(43)<br>(20) | 2 | 1 | 105<br>(44)<br>(25) |
| 寺島薬局(注)<br>（内、調剤取扱店）<br>（内、深夜営業店） | 112<br>(27)<br>(65) | 1 | － | 113<br>(34)<br>(74) |
| 合　　計<br>（内、調剤取扱店）<br>（内、深夜営業店） | 566<br>(352)<br>(332) | 8 | 1 | 573<br>(370)<br>(351) |

（注）寺島薬局株式会社は、当第１四半期連結会計期間において連結子会社の株式会社アプトケア、有限会社ヒュージョン及び有限会社アクロスを吸収合併しております。

また、品目別売上高は、下記の通りとなっております。

| 区分 | 金額（百万円） | 前年同四半期比(%) |
|---|---|---|
| 医薬品・衛生介護品・ベビー用品・健康食品 | 15,259 | 144.9 |
| 調剤 | 4,120 | 146.0 |
| 化粧品 | 10,225 | 131.7 |
| 家庭用雑貨 | 7,789 | 132.3 |
| 食品 | 12,042 | 141.4 |
| その他 | 4,822 | 184.4 |
| 合計 | 54,259 | 142.3 |

以上の結果、当第１四半期連結会計期間の業績は、売上高54,259百万円（前年同四半期比42.3％増）、営業利益1,522百万円（同27.3％増）、経常利益1,641百万円（同26.8％増）、四半期純利益777百万円（同76.8％増）となりました。

## 2.　連結財政状態に関する定性的情報

### (1)　財政状態の分析

（資産）

当第１四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して497百万円減少し、86,369百万円となりました。これは主に、商品が2,745百万円、有形固定資産が705百万円増加したものの、現金及び預金が3,631百万円減少したことによるものです。

（負債）

当第１四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比較して793百万円減少し、59,161百万円となりました。これは主に、買掛金が1,610百万円増加したものの、短期借入金が507百万円、未払法人税等が801百万円及び長期借入金が908百万円それぞれ減少したことによるものです。

（純資産）

当第１四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比較して295百万円増加し、27,208百万円となりました。これは主に、配当金491百万円の支払による減少に対し、当第１四半期連結累計期間における四半期純利益777百万円を計上したことによるものです。

### (2)　キャッシュ・フローの状況

当第１四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、4,246百万円（前年同四半期末比4,269百万円の減少）となりました。

当第１四半期連結会計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第１四半期連結会計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、16百万円の増加（前年同四半期比213百万円の増加）となりました。これは、税金等調整前四半期純利益1,616百万円に対して、主な増加要因として仕入債務の増加1,610百万円及び主な減少要因として棚卸資産の増加2,766百万円、法人税の支払額1,492百万円があったこと等によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第１四半期連結会計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、1,544百万円の減少（前年同四半期比7,535百万円の増加）となりました。これは主に、定期預金の預入による支出416百万円、有形固定資産の取得による支出952百万円があったこと等によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第１四半期連結会計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、2,520百万円の減少　（前年同四半期比14,336百万円の減少）となりました。これは主として、長期借入金の返済による支出1,235百万円、配当金の支払額491百万円及び社債の償還による支出420百万円があったこと等によるものです。

3.　連結業績予想に関する定性的情報

平成22年８月期通期の業績予想につきましては、現時点では「平成21年８月期　決算短信」（平成21年10月15日付）において公表いたしました予想から変更はありません。

4.　その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度末決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

会計処理基準に関する事項の変更

前連結会計年度の第２四半期連結会計期間より有価証券の評価方法については、従来、主として総平均法によっておりましたが、移動平均法に変更したため、前第１四半期連結会計期間と当第１四半期連結会計期間で有価証券の評価方法が異なっております。なお、前第１四半期連結会計期間を変更後の方法によった場合に比べても、損益に与える影響はありません。

表示方法の変更

（四半期キャッシュ・フロー計算書類関係）

前第１期四半期連結累計期間において、「投資活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めていた「定期預金の預入による支出」は重要性が増加したため、当第１四半期連結累計期間より区分掲記することとしております。なお、前第１四半期連結累計期間の「投資活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含まれる「定期預金の預入による支出」は△5百万円であります。

## ５．四半期連結財務諸表

### (1)　四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

| | 当第１四半期<br>連結会計期間末<br>（平成21年11月30日） | 前連結会計年度末に係る<br>要約連結貸借対照表<br>（平成21年８月31日） |
|---|---|---|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 5,605 | 9,237 |
| 売掛金 | 3,501 | 3,291 |
| 商品 | 24,696 | 21,951 |
| その他 | 3,442 | 3,571 |
| 貸倒引当金 | △2 | △2 |
| 流動資産合計 | 37,243 | 38,049 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 12,798 | 12,704 |
| 土地 | 5,439 | 5,191 |
| リース資産（純額） | 4,322 | 4,227 |
| その他（純額） | 1,111 | 841 |
| 有形固定資産合計 | 23,670 | 22,964 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 10,356 | 10,657 |
| その他 | 800 | 779 |
| 無形固定資産合計 | 11,157 | 11,436 |
| 投資その他の資産 | | |
| 差入保証金 | 11,321 | 11,376 |
| 破産更生債権等 | 77 | 77 |
| その他 | 2,976 | 3,039 |
| 貸倒引当金 | △77 | △77 |
| 投資その他の資産合計 | 14,297 | 14,415 |
| 固定資産合計 | 49,125 | 48,817 |
| 資産合計 | 86,369 | 86,867 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 27,036 | 25,426 |
| 短期借入金 | 7,615 | 8,122 |
| 未払金 | 1,791 | 1,963 |
| 未払法人税等 | 776 | 1,578 |
| 賞与引当金 | 389 | 378 |
| ポイント引当金 | 1,581 | 1,536 |
| その他 | 3,225 | 3,308 |
| 流動負債合計 | 42,416 | 42,313 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 764 | 784 |
| 長期借入金 | 11,692 | 12,600 |

（単位：百万円）

| | 当第１四半期<br>連結会計期間末<br>（平成21年11月30日） | 前連結会計年度末に係る<br>要約連結貸借対照表<br>（平成21年８月31日） |
|---|---|---|
| 退職給付引当金 | 401 | 388 |
| 役員退職慰労引当金 | 612 | 594 |
| その他 | 3,274 | 3,272 |
| 固定負債合計 | 16,744 | 17,640 |
| 負債合計 | 59,161 | 59,954 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,000 | 1,000 |
| 資本剰余金 | 14,271 | 14,271 |
| 利益剰余金 | 11,029 | 10,744 |
| 自己株式 | △32 | △32 |
| 株主資本合計 | 26,268 | 25,983 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 3 | 13 |
| 評価・換算差額等合計 | 3 | 13 |
| 少数株主持分 | 936 | 915 |
| 純資産合計 | 27,208 | 26,912 |
| 負債純資産合計 | 86,369 | 86,867 |

(2)　四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

| | 前第１四半期連結累計期間<br>（自　平成20年９月１日<br>至　平成20年11月30日） | 当第１四半期連結累計期間<br>（自　平成21年９月１日<br>至　平成21年11月30日） |
|---|---|---|
| 売上高 | 38,141 | 54,259 |
| 売上原価 | 26,851 | 38,492 |
| 売上総利益 | 11,290 | 15,766 |
| 販売費及び一般管理費 | 10,094 | 14,244 |
| 営業利益 | 1,195 | 1,522 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息及び配当金 | 15 | 51 |
| 協賛金収入 | 55 | 23 |
| その他 | 87 | 129 |
| 営業外収益合計 | 158 | 204 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 34 | 64 |
| 創立費償却 | 16 | － |
| その他 | 8 | 21 |
| 営業外費用合計 | 60 | 85 |
| 経常利益 | 1,294 | 1,641 |
| 特別利益 | | |
| 移転補償金 | － | 21 |
| その他 | 0 | 3 |
| 特別利益合計 | 0 | 25 |
| 特別損失 | | |
| 店舗閉鎖損失 | 18 | 3 |
| 固定資産除却損 | 4 | 1 |
| 投資有価証券評価損 | 33 | 2 |
| 減損損失 | 13 | 39 |
| たな卸資産評価損 | 298 | － |
| その他 | － | 2 |
| 特別損失合計 | 368 | 50 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 925 | 1,616 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 840 | 740 |
| 法人税等調整額 | △354 | 78 |
| 法人税等合計 | 486 | 819 |
| 少数株主利益 | － | 20 |
| 四半期純利益 | 439 | 777 |

(3)　四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

| | 前第１四半期連結累計期間<br>（自　平成20年９月１日<br>至　平成20年11月30日） | 当第１四半期連結累計期間<br>（自　平成21年９月１日<br>至　平成21年11月30日） |
|---|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 925 | 1,616 |
| 減価償却費 | 363 | 562 |
| 減損損失 | 13 | 39 |
| のれん償却額 | 205 | 300 |
| 貸倒引当金の増減額（△は減少） | △0 | △0 |
| 賞与引当金の増減額（△は減少） | 146 | 10 |
| 役員退職慰労引当金の増減額（△は減少） | 15 | 17 |
| 退職給付引当金の増減額（△は減少） | 8 | 12 |
| ポイント引当金の増減額（△は減少） | 81 | 45 |
| 受取利息及び受取配当金 | △15 | △51 |
| 支払利息 | 34 | 64 |
| 投資有価証券売却損益（△は益） | － | △3 |
| 投資有価証券評価損益（△は益） | 33 | 2 |
| 固定資産除却損 | 4 | 1 |
| 固定資産受贈益 | △13 | △7 |
| 売上債権の増減額（△は増加） | △64 | △210 |
| たな卸資産の増減額（△は増加） | △1,159 | △2,766 |
| 仕入債務の増減額（△は減少） | 81 | 1,610 |
| 未払消費税等の増減額（△は減少） | △38 | △79 |
| その他 | 237 | 362 |
| 小計 | 860 | 1,529 |
| 利息及び配当金の受取額 | 14 | 47 |
| 利息の支払額 | △34 | △68 |
| 法人税等の支払額 | △1,037 | △1,492 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △197 | 16 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | － | △416 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △1,021 | △952 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △36 | △20 |
| 敷金の差入による支出 | △374 | △195 |
| 敷金の回収による収入 | 39 | 40 |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出 | △7,658 | － |
| その他 | △29 | △0 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △9,080 | △1,544 |

（単位：百万円）

| | 前第１四半期連結累計期間<br>（自　平成20年９月１日<br>至　平成20年11月30日） | 当第１四半期連結累計期間<br>（自　平成21年９月１日<br>至　平成21年11月30日） |
|---|---|---|
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額（△は減少） | 653 | △180 |
| 長期借入れによる収入 | 11,940 | － |
| 長期借入金の返済による支出 | △524 | △1,235 |
| 社債の償還による支出 | △30 | △420 |
| 配当金の支払額 | △164 | △491 |
| ファイナンス・リース債務の返済による支出 | △57 | △193 |
| 自己株式の取得による支出 | △1 | △0 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 11,815 | △2,520 |
| 現金及び現金同等物の増減額（△は減少） | 2,538 | △4,048 |
| 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額 | 789 | － |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 5,188 | 8,294 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 8,516 | 4,246 |

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

① 事業の種類別セグメント情報

前第１四半期連結累計期間（自 平成20年９月１日　至 平成20年11月30日）

当社グループの事業は、医薬品・衛生介護品・ベビー用品・健康食品、調剤、化粧品、家庭用雑貨、食品等を扱う小売業を主たる事業としており、この事業の売上高及び営業利益の金額は、いずれも全セグメントに占める割合が90％超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

当第１四半期連結累計期間（自 平成21年９月１日　至 平成21年11月30日）

当社グループの事業は、医薬品・衛生介護品・ベビー用品・健康食品、調剤、化粧品、家庭用雑貨、食品等を扱う小売業を主たる事業としており、この事業の売上高及び営業利益の金額は、いずれも全セグメントに占める割合が90％超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

② 所在地別セグメント情報

前第１四半期連結累計期間（自 平成20年９月１日　至 平成20年11月30日）

本邦以外の国または地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

当第１四半期連結累計期間（自 平成21年９月１日　至 平成21年11月30日）

本邦以外の国または地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

③ 海外売上高

前第１四半期連結累計期間（自 平成20年９月１日　至 平成20年11月30日）

海外売上高がないため、海外売上高の記載を省略しております。

当第１四半期連結累計期間（自 平成21年９月１日　至 平成21年11月30日）

海外売上高がないため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。